

News Clip & AV Material

ニュースクリップ&映像教材



■インターネット教材「けん玉で楽しくあそんでみよう！改修版」平成26年度「子どもゆめ基金」((独)国立青少年教育振興機構)の助成を受け、日本視聴覚教育協会では、標記インターネット教材を作成した。入門、初級、中級、名人、達人とレベル別の内容構成で、レベルごとの練習終了には、「できたか・否か」の判定も行うことができるようになっている。レベルに合わせた幅広い、けん玉体験ができるようになっている。詳細は、<http://www.javea.or.jp/kendama/>を参照のこと。

文部科学省情報

■平成27年度 子どもの読書活動推進フォーラム

文部科学省、(独)国立青少年教育振興機構の主催により、子ども読書の日に標記フォーラムが開催される。

〈日時〉平成27年4月23日(木) 13:00~16:15

〈会場〉国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール(東京都渋谷区代々木神園町3-1)他。

〈内容〉特別講演「読むこと 書くこと」浅田次郎氏(作家)、事例発表と対談、表彰式等。事前申し込み。定員になり次第締切。

〈問い合わせ先〉(独)国立青少年教育振興機構教育事業部事業課 TEL 03-6407-7685(受付時間 9:30~17:00土日・祝日を除く)

AV情報

■第56回科学技術映像祭入選作品発表会表彰式

(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団主催により、標記映像祭が開催される。

〈日程〉平成27年4月16日(木)・17日(金)

〈会場〉科学技術館サイエンスホール(東京都千代田区北の丸公園2-1)

〈内容〉入選作品発表会、表彰式等。なお、入選作品発表会は全国の科学館等においても開催予定。詳細は、下記を参照のこと。

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

〈問い合わせ先〉科学技術祭事務局

TEL 03-3212-8487

■MPTE第19回勉強会「待ったなし！ポーン デジタルの映画保存」

(一社)日本映画テレビ技術協会映像プロセス部会主催による標記勉強会が開催される。

〈日時〉平成27年4月22日(水) 15:00~17:30

〈会場〉富士フィルムホール西麻布本社(東京都港区西麻布2-26-30)

〈内容〉講演「東京国立近代美術館フィルムセンターにおけるデジタル映画保存の取り組み」[デジタル映像の長期保存に於ける磁気テープの活

用：現状と将来展望」、質疑応答。

〈問い合わせ先〉 (一社)日本映画テレビ技術協会
TEL 03-5255-6201

■「全国中学校人権作文コンテスト」優秀作品を題材にした新たなコンテンツ配信



資料 コンテスト入賞作品朗読集 DVD案内

法務省では、昭和56年度から、次世代を担う中学生が人権問題について作文を書くことにより、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけることを目的として、標記コンテストを実施している。この

たび、同コンテスト優秀作品を題材にした新たなコンテンツが完成（資料）。

法務省ホームページ (<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken111.html>) による配信とDVD貸し出しも行う。

〈問い合わせ先〉 (公財)人権教育啓発推進センター
TEL 03-5777-1802

■ 第46回「博報賞」推薦受付開始

(公財)博報児童教育振興会では、学校・団体・教育実践者を顕彰することを通して、児童教育の現場を活性化させることを目的に教育実践を募集している。

〈部門〉 国語・日本語教育、特別支援教育、日本文化理解教育、国際文化理解教育、教育活性化の5部門。
〈応募資格〉 小・中学生を中心とする児童生徒を対象とした教育実践者・団体。教育委員会など教育関係の第三者による推薦が必要。

〈賞〉 5部門で20件前後。正賞賞状、副賞100万円。

〈締切〉 平成27年6月30日（火）詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

〈問い合わせ先〉 (公財)博報児童教育振興会
TEL 03-5570-5008

■ 第6回教育ITソリューションEXPO

日本最大の学校向けIT専門展として、リード エグジビジョンジャパン(株)主催、(一社)日本教育情報化振興会、(一社)大学ICT推進協議会他の後援により、標記展示会が開催される。

〈日時〉 平成27年5月20日（水）～22日（金）
10:00～18:00

〈会場〉 東京ビッグサイト東展示棟1・2ホール
(東京都江東区有明3-11-1)

〈内容〉 講演やセミナー、教材・教育コンテンツ、学校業務支援、学校向け災害対策、教育用ハードウェア、特別支援教育などの展示等。

〈問い合わせ先〉 教育ITソリューション事務局
TEL 03-3349-8510

■ 第1回国際ドローン展

(一社)日本能率協会主催により、無人航空機ドローンの展示会が開催される。

〈日時〉 平成27年5月20日（水）～22日（金）
10:00～18:00

〈会場〉 幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

〈内容〉 ドローンによる空撮、災害現場の調査など用途の実用事例、関連技術を集めた専門展示会。

〈問い合わせ先〉 (一社)日本能率協会
TEL 03-3434-0587

研究会情報

■ タブレット端末活用セミナー 2015

(一社)日本教育情報化振興会主催により、「導入と活用のポイント タブレット端末活用を推進するための方策を考える」をテーマに標記セミナーが開催される。

〈日時〉 平成27年4月25日（土）12:50～16:40

〈会場〉 ハービスHALL（大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKA B2F）

〈対象〉 学校の教員、教育委員会および自治体の職員。定員になり次第締切。

〈内容〉 特別講演「今求められる“情報教育”—学習指導要領の改訂に向けて」永井克昇氏（文部科学省初等中等教育局視学官）、趣旨説明「タブレット端末の活用はどこまで進んでいる？」中川一史氏（放送大学教授）、実践発表「『タブレット端末×授業支援ソフト』教員から始めるタブレット活用“協働学習”成否のポイント“画面合体”で広がる学習活動」他。

〈問い合わせ先〉 「タブレット端末活用セミナー」事務局

TEL 06-4807-6374

学会情報

■ 2015年度CIEC学会賞「功労賞」募集

(一社)コンピュータ利用教育学会では、コンピュータ利用教育にかかわる功績を表彰するため、その対象先を募集している。

〈表彰の種類〉 コンピュータ利用教育にかかわる研究調査、啓発普及もしくは出版文化活動において、顕著な功績があったと認められる者および団体。コンピュータ利用教育に関し、画期的な業績によって特に貴重な学術貢献をなしたと認められる者。学会の会員推薦が必要。詳細は、下記を参照のこと。http://www.ciec.or.jp/ja/activity/prize/index.html

〈締切〉 平成27年4月30日(木)

〈問い合わせ先〉 コンピュータ利用教育学会
MAIL jim@ciec.or.jp

■ 日本アーカイブズ学会2015年度大会

将来のアーカイブズとなる記録の生成、保存および活用についての理論と技法を研究し、実践することを目的とする日本アーカイブズ学会では、標記大会を開催する。

〈日時〉 平成27年4月25日(土) 15:30~16:30・26日(日) 9:30~17:00

〈会場〉 東京大学大学院経済学研究科学術交流棟 小島ホール(東京都文京区本郷7-3-1)

〈内容〉 講演「時を貫く記録を守る—これからのアーカイブズの課題—」加藤丈夫氏(国立公文書館長)、自由論題研究発表会、企画研究会「アーカイブズを学びに活かす」等。

〈問い合わせ先〉 日本アーカイブズ学会事務局
MAIL office@jsas.info

文部科学省選定作品

■ 2月選定 紙しばい / ビデオ / DVD

「たばこの煙 その影響は?—広がる禁煙社会—」
D 18分〈中学校、保健体育／青年、健康・スポーツ(保健・衛生)〉(株)映学社

「素敵だね 禁煙社会—たばこの煙の害について考える—」
D 20分〈高等学校、保健体育／青年、健康・スポーツ(保健・衛生)〉(株)映学社

「こんにちは 金泰九さん—ハンセン病問題から学んだこと—」
D 25分〈中学校・高等学校、特別活動／少年・青年・成人、地域社会生活(人権)〉(株)映学社

「夢は世界を駆けめぐる—海外技術協力のバイオニア—」
D 21分〈少年、教養〉虫プロダクション(株)

「『一気飲み』が死亡事故へ—急性アルコール中毒の危険性—」
D 20分〈青年・成人、健康・スポーツ(保健・衛生)〉(株)映学社

「映像で学ぶ薬害シリーズ 薬害の知識と教訓 クロロキン事件」
D 28分〈青年・成人、職業生活一般(職業倫理)〉(株)メディアバンガード
映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

寄贈図書資料

「放送メディア研究 第12号 多様化する子どもの学習環境と教育メディア」平成27年2月27日、四六判314頁、日本放送協会放送文化研究所

短信

■ 文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動

平成27年4月1日付

○筑波大学東京キャンパス事務部長 新津勝二氏→情報教育振興室長(併)初等中等教育局視学官
○大学入試センター事業第二課長 稲葉敦氏→情報教育振興室長補佐
○国立教育政策研究所研究開発部教育課程調査官 鹿野利春氏→(併)教科調査官
○生涯学習推進民間教育事業振興室民間教育事業第一係長(併)生涯学習推進係長 壬生篤志氏→庶務係長
○佐賀県 下村昌弘氏→情報教育振興室専門職
○新規採用 戸澤優也氏→学習情報係
○静岡県 深澤徹氏→情報教育振興室情報教育推進係
○情報教育振興室長(併)初等中等教育局視学官 酒井貢氏→筑波大学東京キャンパス事務部長
○情報教育振興室長補佐 大内克紀氏→初等中等教育局教育課程課学校教育官
○庶務係長(併)ICT環境整備係長 松井佳奈江氏→社会教育課地域・学校支援推進室地域学習活動企画係長
○専門職菅原弘一氏→仙台市○学習情報係 杉崎太祐氏→内閣官房副長官補付
○情報教育振興室情報教育推進係 丹野到氏→佐賀県○庶務係(併)ICT環境整備係 中ノ園功明氏→横浜国立大学○教育情報施策調整係 加々美綾乃氏→教育情報施策調整係長
■ 一般財団法人日本放送教育協会は平成27年3月をもって解散することとなり、一般財団法人NHKサービスセンターに業務が引き継がれることになった。